

政務活動費成果報告書

令和6年11月29日

犬山市議会議長
柴田ひろゆき様

議員名 柴山一生

下記のとおり、調査の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和6年11月20日(水)～令和6年11月21日(木) (1泊2日)
(2) 視察地	参議院会館、衆議院会館
(3) 視察の種類	政務調査
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	1日目 中田参議院議員主宰の地方制度研究会に参加し、地方創生交付金について学んだ。令和4年補正予算で「デジタル田園都市国家構想」が創設され、800億円が付き、令和5年の当初で1000億円、補正が735億、令和6年の当初で1000億がついた。四つのタイプに分けられ、デジタル実装タイプ、地方創生拠点整備タイプ、地方創生推進タイプ、地方産業構造転換インフラ整備推進タイプ。10月4日の石破首相の所信表明演説にも10年前地方創生担当大臣となり、地方創生交付金の創設をした。以来地方が頑張りと、地方こそ成長の主演と感じたと訴えた。犬山も活用できそうな交付金があった。
	2日目 衆議院会館の福田徹衆議院議員事務所と仙田晃宏衆議院議員を訪問し、「木曽川中流域振興」について今期で一定の方向性を出していくことについて懇談した。
	「デジタル田園都市国家構想」の地方創生拠点推進タイプが、ツインブリッジから彩雲橋までの木曽川左岸の事業に運用できるのではないかと考えたので、担当課とその可能性について協議をしていきたいと考えている。
	それはとりもなおさず木曽川中流域振興にもつながってくると考える。
(5) 犬山市に 対する提言	

